

# 協働通信

本市には、市民活動支援の一環として『市民委員会制度』があります。この制度は、1年間、市民委員会として活動をしていただく中で、まちづくりの様々な分野の課題を探り、市民と行政がどのように関わっていくべきか、市民の方から提言をいただく制度です。4月号では、29年度に認定した2団体から織物文化を伝える『WEAVE(ワイブ)』をご紹介します。

※WEAVE…都留文科大学生団体  
**郡内織物の魅力を伝える『WEAVE』**

昨年の4月号にて、第1期の活動である『郡内織物ワークショップイベント』を紹介しましたが、第2期がスタートした29年度は、地域での活動を重視して、商家資料館とまちづくり交流センターを拠点に、市民委員会としての活動を行ってきました。商家資料館での織物に関する講座、まちづくり交流センターで織物製作などの活動を通して、「郡内織物に本当に興味があるファンを1人でも増やしたい」という思いを大切にしてきました。



■商家資料館での講座  
 商家資料館を利用して、様々なテーマで講座を開催しました。参加者の皆さんに郡内織物について様々な視点から深く知ってもらう機会となりました。

**2期目の活動について、詳しく教えてください**

『郡内織物に本気で取り組むファン』をつくるのが目的だったので、織物について知る講座を開催しました。

郡内織物の歴史や文学の中の郡内織物、現在の織物産業の取り組みなど、様々な角度から郡内織物を切り取ることで、参加者の方に郡内織物の魅力をたくさん知っていただくことができました。

また、織物がどうやって出来るのかを知るために、織物関連の企業見学も行っています。講座と並行して織物制作を1年かけて続けていく中で、企業見学は大変参考になりました。様々な講座が、自分だけの織物を参加者それぞれが心をこめて制作するきっかけになったと感じています。



■天野商店見学のようす  
 縦糸に模様を染め付ける作業場を見学しました。一つ一つ手作業で行う工程だと知り驚きました。織物がどうやって出来るのか詳しく知ることができました。

▽都留市まちづくり市民活動支援センター  
 都留市中央3-8-1  
 都留市まちづくり交流センター  
 ▽開館  
 火～日(祝日除)  
 8:30～17:15  
 ▽問い合わせ先  
 mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp  
 ☎(43)1321  
 F AX(43)1322

**活動を通してどんな成果がありましたか？**

1年間を通して活動してくれた参加者と非常に濃い繋がりができました。普段は『学生と市民の協働』といっても、市民・学生といった『属性』にとらわれがちになってしまいます。でも、1年間の活動を通して、非常に濃い人間関係が生まれたことで、織物が本当に好きな人という『一人』として、講座以外でも集まるような親しい関係に変わりました。市民の方とこうして深く関わられたのが大きな財産になっています。

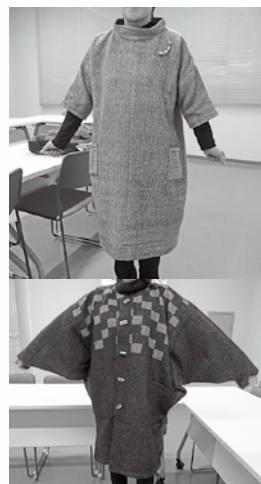


■織物制作のようす  
 参加者それぞれが好きな色の糸や模様を選んで『自分だけの織物』を制作しました。思い通りの模様を出すためにどうしたらいいかと和気あいあいと話しながら楽しく制作できました。

**今後はどのような活動をしていきたいですか？**

学生は3月で卒業しますが、4月以降も活動自体は続けていきたいと考えています。活動を始めた当初は学生の参加の方が多いと思っていたのですが、今は参加者のほとんどが市民の方で、一般の方

が大変興味を持って来ています。市民・学生といった枠にとらわれず、『本当に織物が好きな人』を1人でも増やしていきたいように、これからも活動を続けていきたいです。



■参加者が制作した織物  
 手織りに見えないくらい素敵な仕上がりの作品ばかりで、お披露目がとても楽しみです。

**WEAVEからのお知らせ**

ファッションショー＆

織物講座イベントを開催します！

参加者が製作した織物のお披露目ファッションショーのほか、郡内の織物について知ることができる講座や展示を行います。

日時 4月29日(日) 13時～

会場 商家資料館

備考 入場無料、どなたでもご参加いただけます。